



たれが自慢の焼鳥
灘の生一本で京風のおでんを

さんちかへお越しの節は
気軽にご家族連れでどうぞ



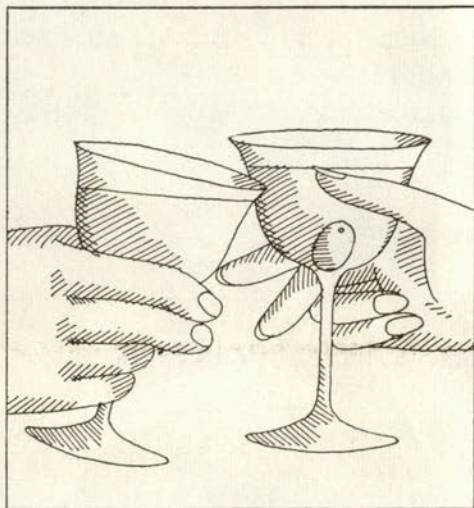
花隈

森 本

三宮店 三宮ビル地下名食街
(おでん・焼鳥) 22-7450

花隈店 生田区花隈町
(割烹料亭) 34-8017 35-1355

楽しく なごやかな
KOBÉの憩いの場で
4エリオー!



club Midori

年中無休・大阪クレジットビュロー取扱いあり

神戸市生田区中山手通1丁目110

PHONE <33> 5543・7831

飯上 太佳子

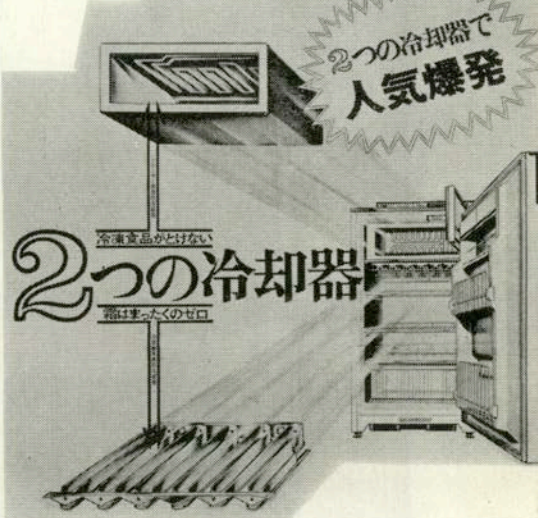
宝 石
貴 金 属
時 計



仲 庭

さんちかタウン (39) 4 5 9 3
梅田新道 堂ビル北(364)8121代表
桜 橋 毎日新聞社前(341)0412
新大阪ステーションストア
大阪ロイヤルホテルセイコーショップ

1・2・0冷凍東芝冷蔵庫
1台の冷蔵庫に2つの冷却器
しかも霜はまったくのゼロ



冷凍時代の
理想の設計 理想のサイズ
GR-120SY <3~5人用>
現金正価 61,200円
月賦定価 67,000円

あらゆる電化製品の店
元町家庭電器販売KK

元町6丁目 TEL(35)0081<代表>・4



はくたちが三星堂へ入社したのは3月1日。入社早々江田島の海上自衛隊第1技術課へ入隊訓練を2日間受けに行った。規則正しい訓練で大収穫を得て帰神。さっそく皆で無事終了お祝いをしようとスカイサントリーへ初めて行く。サントリービールでスコール! 実にうまい。港の見えるスカッとした見晴しは九州育ちのぼくにはご気嫌だ。以来スカイサントリーのファンになってよくお世話になっている。

〈三星堂人事課 上野俊男〉

飲みほうだい〈サントリービール〉+食べほうだい! 〈北欧風ヴァイキング料理〉 1,000円〈飲食税 100円別〉



なごやかな
ムード
すばらしい
眺望!

ビヤレストラン 三宮交通センタービル9階 TEL ㊟ 3705~6
スカイサントリー

神戸遊戯誌 44

国際港神戸に

ふさわしいグラウンドを

戦後の兵庫県サッカー界の実力が、残念ながら全国的にはA級の下かB級に落ちたことは前回書いたが、昔の勢力をもう一度盛り返そうと、関係者は現在必死に各種の対抗策を講じている。その第一はヤンガー・ゼネレーションの育成である。県が学芸大学をこしらえてくれぬ限り、その代案を実行する以外に方法はないところから一昨年四月から神戸市では「サッカー教室」を作って少年少女選手の再養成に当たっているが、その中核団体である全国初の試みの「サッカー・スポーツ少年団」には現在三百名以上の少年が参加して、技術の練磨に励んでいる。神戸の福住小学校ではすでに大橋真平校長（元御影師範選手）の発声で女子チーム（戦前はなかった）が



活躍する福住小学校女子チームの練習風景、相手は神戸サッカー教室の小学生



市立神港高校OBの神港サッカークラブチームと西ドイツ船ハンブルグ号チームの親善交歓風景

作られ、先般も神戸女学院チームと対戦した。同校の近所に住んでいてパン屋を経営している小崎氏（元神港高校、元関大選手）が、同チームの協力者となっていていろいろと世話をしてくれていることも大きな励みとなっている。選手は約三十名だが、大橋、尾崎両氏共に「オヤジの夢」をもう一度一というところであろう。昔は雲中小の選手は神戸一中へ入学するとかならずサッカーをやらされたもので、そこから強力選手が世に出たのだから、小学校時代からやらせることは最上の方策といえる。

以上のことを含めて関西蹴球協会兵庫支部では次の五目標をかかげて、近い将来に「強力兵庫陣」の復興を果たそうと真剣に努力している。その第一はいままでもなく少年少女選手の育成強化であり、第二はだれでもが自由に入会し、自由にサッカーのできるクラブ・チーム（これも神戸市内に昨年から誕生）の作成である。次には

サッカー ④

青木重雄

県下にりっぱな国際サッカーのできるグラウンドを早く作ってよい試合を見られるようにすること、日本人用の芝生のグラウンドをたくさん作ることだ。サッカーの盛んなロンドンなどでは郊外に芝生のグラウンドが十二三面もあるほどだ。もっていかんにサッカーに熱を示しているかがわからう。最後の目標は以上四つのネライを総合して、とにかく「蹴球王国兵庫」のリバイバルをめざしてあらゆる情熱と努力を傾けることだ。国際サッカー場の実績のためには前に述べたように兵庫支部から神戸市に猛烈な陳情が何回も行なわれ、すでに市から創設の確約を得ている。あとは時日の問題だけだ。だが、支部では全目標がそう短時間でできるなどとは思っておらず十年はかかるものと考えている。十年は長過ぎるような気もするが、全国一の実力を果たすためには、そう簡単に一朝一夕にできぬことは当然だろう。この五目標を発表したらこれを果たすために協力したいと、県下からすでに千名以上のサッカー同好者が支部へ名乗りでてきているというから心強いがぎりである。

一方県下実業団チームの現状をみると、この方もようやく活発となり、チーム数は数年前に比べると二倍の五十八チームとなっている。やはり大会社チームが多いがたいてい毎日曜、祭日にはリーグ戦を行なっている。なかでも神戸市役所、住友ゴム、三菱重工、ドッドウエル商会の諸チームの活躍がめだっている。だが、現在のところ全国的にいまだ一つ有名なチームが現れないのは、各経営者が戦前はどサッカーへの理解をもっていないからではないかと思われる。リッカー株式会社のような理解と協力が示されればもっと強チームが生まれるに違いないから、この際各経営者の理解が切に望まれてならない。昨年は全国社会人サッカー・リーグの試合を通じて優秀チームの実力が全日本代表への実力に近づいたことが実証されたといえるが、神戸の社会人チームからそれだけの実力がうかがえなかったことは残念しごくだった。だから神戸へときどき上位チームを引っ張ってきて

試合をすることが絶対に必要だろう。来る五月十五、十六日に神戸で行なわれる「開港百年祭」には各種の記念試合が行なわれることになっているか、この機会に社会人チームはもちろん、学生チームも他府県の優秀チームを呼んでぜひ一戦を交えてほしいものだ。なお、かねてから神戸サッカー・チームをこしアルゼンチンへ送って世界の強豪アルゼンチン・チームと試合をさせるプランがあつたのにダメになったのは惜しまれるが、それに代わってというわけでもないが、百年祭にちなんでブラジル・チームを六月ごろ神戸へ呼ぶ計画がある。この方はぜひ実現させてほしいものだ。

国際都市神戸だけに、国際試合の機会にうんと恵まれたいと思うが、戦後といっても近年伝統校の一つ神港商業クラブ・チームでは神戸港に外国船が立ち寄るチャンスを逃がさず、各外国船々員チームと試合をやっている。実力向上だけでなく、交歓親善の役目も果たせるから一石二鳥である。今日までにソビエト、西独、イギリス、トルコなどの諸チームと王子グラウンドでやったがトルコとやった時などは日本の選手一同が船へ招かれ、船上で交歓をうけたうえ記念メダルをたくさんもらったほどだった。神戸港には一週間に五隻は寄港するが、どの外国船の船員もサッカーが大好きで、上陸してボールを蹴りたいともらしている。サッカーはもはや今日では世界的で、大抵の国がサッカーに熱を揚げている。この情勢を考えただけでも国際港神戸にロクなグラウンドがないことは残念であり恥である。ぜひとも一日も早く協会の努力と全市民、県民の応援でよいグラウンドを作ってほしいものだ。それも青々とした芝生で排水のよい理想的なものを設けてほしい。

後記

本章は、青木義隆（元神戸一中、関学選手）、二宮運次（関学中、立教）、大橋真平（御師）、北川貞義（三中）、小崎忠雄（神港高）、加藤正信（神一中）、平吉寛次（関学中）、中川次男（兵庫県工）の各氏の談話から取材しました。

神戸うまいもん巡礼

No.55

赤尾 兜子 続・花隈の巻

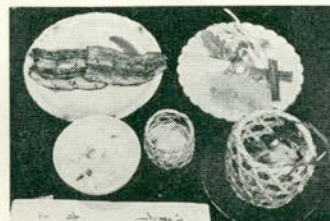
色街としての花隈に近年衰微の徴候がめだっていることは前回で述べたが、芸者を主にした名のみの料亭でなく、あくまで料理、いや料理そのものでゆこうという花隈の新しいイメージを持つ店が出だしている。これも、時流というものだ。

花隈といっても、もっとも南、国鉄高架に近い「青葉」(生田区花隈町八六)がまずその一店である。

この店は戦前、花隈でとくに著名だった料亭「現長」のあったところ。二十九才という若い当主、湯木稔君が板場をかねて経営している。店を開いていまだ一年半。叔父の湯木貞一さんが経営、茶懐石を料理店の料理に発展させるという歴史のエポックをつくった大阪の「吉兆」で茶懐石を二年、文壇俳句会の定席で、うなぎの名舗として知られる東京・永田町の「山の茶屋」でうなぎ料理に三年、みっちり腕をみがいてきた湯木君が情熱を注いでいるだけに、将来ともに楽しみな店である。

昭和八年に生まれ、神戸のうなぎ料理の老舗である「青葉」の家系をまもって、うなぎなどの川魚主体の料理

半円型の輪島ぬりの器に盛りつけた「すすむ」の半月会席。



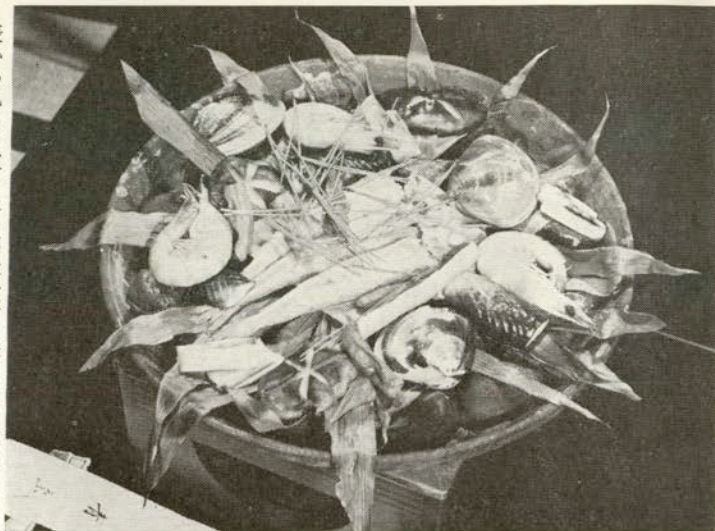
味覚と盛付の美しさを誇る「青葉」の料理のかずかず。

に、茶懐石の巧緻なテクニク料理を加えてアクセントをつけようという構え。

器がよく吟味してある。「吉兆」の高弟、小島信平さんのやっている大阪の「生野」とおなじ系統から入手しているというが、なるほどと思ったしだいだ。季節によっていくぶん小魚の種類や野菜にちがいはあるが、この店の三月のコースをいうと、

前菜(稚鮎揚げ、豆腐田楽) すっぽん汁、鯉の造り、季節の魚、菜をならべて蒸した炮烙蒸(ほうらくむし) スモーク・サーモンと野菜をあしらったサラダ、蒲焼、すっぽん雑炊、果物といった順である。コースで二五〇〇三〇〇円。

ほうらくの底に小石、その上に青竹と松葉を敷き、季節の魚、はまぐり、しいたけ、ねぎなどの野菜を蒸焼きにして、石に酒をふりかけて最後をまとめた「ほうらくむし」は、ほうらくの上の魚菜の変化が美しく、たれ酢にひたして食べるといかにも風味が深い。うなぎは江戸前仕立てで、蒸して焼いてある。いい仕事ぶりである。座敷からみる、小庭の手入れもよくゆきとどいている。



(上)「青葉」の味自慢の一つほうらく蒸 (下)味とボリュームを誇る「すすむ別館」のうどんすき。



表から見ると堂々たる高級料亭の構えで、敬遠の気分が起りやすいが、湯木君は「花隈にあるので、かえって損をしています。料理の店として色街・花隈と切りはなして理解してほしい」とその腕を撫しているかっこうである。

花隈の仕出し屋・阿左田が四十年秋に、花隈から身を乗り出して県庁旧館西側の協和ビル四階に開いた「すすむ別館」も、異色の店であらう。花隈の仕出し屋として二十年。三十一年に店主、清水丑次郎さんの経営するところになったが、花隈できたえあげて安定した味を、一般へ開放、斜陽花隈から次の時代への足がかりを考えたあげくのことであった。

開店いらい、勇敢なその進出のカゲに、ビル内の和風レストランという条件もいれて、かなり経営に苦勞がみえるが、この店では「半月会席」と「うどんすき」の安定した味が推賞できる。

「半月会席」は、半経二十センチくらいの半円型の輪島ぬ

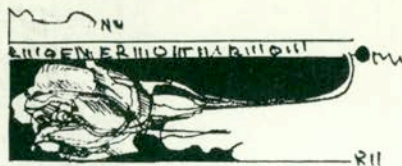
りの器に四つの小皿をはめこみ、それぞれの皿に、季節の料理を盛りつけたもの。この皿が半円型なところから三日月、つまり半月会席という。手前は刺身、向う側が鯛の玉子の大根巻き、鳥肉、きぬさや、京イモの煮付け、右側が八幡巻、エビサンドのフライ、魚、鳥肉のミンチ、左側が焼魚、梅の甘露煮、あえものといったぐあい、すべてうす味、これに、吸物とご飯がついて一人前八〇〇円。もっとも四季に応じて、品ぶれに変化がつくが、口うるさい花隈客の料理をこなしてきただけに、一品一品の仕あげ、味つけとも洗練されている。中年層には、人気があろうというもの。「うどんすき」は、神戸でもかなりの手がける店が出来ているが、この店のそれは、うどんをはじめから煮出汁を入れたナベの底に入れ、その上に魚、鶏肉、野菜などを入れて煮る手順が他の店とちがう。かなり煮つめても、煮はじめのころとうどんの硬さが一定しているところがいい。汁のにごりもすくな

い。一人前五〇〇円。

淑女入門 5 How to be a Lady

変化球淑女

文・名村喜久江
え・石阪春生



H. ISHISAKA

このところ電波や活字で
“女を叱る”企画が目につく。戦後めつきり強くなってきた女群に対して、このままではならじと、権威奪回をめざす男性たちの悲しき抵抗(?)であろう。

彼らが、ときには本気でときには一杯気嫌で毒づくのに対して、カッカと燃えた女性たちが、抗議の電話をかけたなり、イヤミをならべた手紙を出す。するとま

た、その直接反応ぶりをネタにしては“女子と小人は養いがたし”だの“女にはユーモアがわからん”などとせせら笑って“いや、女なんて、ちいせえちいせえ”と、もう一度リユウインを下げる——といった具合である。

そこで、私は提案したい。男性たちのつまらない挑戦見えずいた強がりに対しては「ふふん」とハナの先で軽くうけとめ「その一言が多いようよ」とボンと突放す余裕こそ、あなたを淑女たらしめる道である、と。

女性にはマンガのおもしろさがわからない、とよくいわれる。“だって、これではツジツマがあわないわ”とか“こんなの変よ”といった合理的解釈が多すぎて、マンガのユーモアだのペーススが、すんなりうけとめられない、というのだ。

女性は幸か不幸か、こうした真正直さ、ストレートさを好む動物である。女性の好む言葉に「白黒をハッキリさせようじゃないの」というのがある。白か、黒か。中間のネズミ色ではお気に召さない。正直とか、誠実とかが人生の宝石であり、男性みたいに、チャランポランにしてはおけない律気さがある。これはなにも、女性に単細胞で、幼稚で、狭量だからというのではない。天性、女というものは、キチンとしたことが好きなのである。2たす2は4でなければならぬし、4ひく3は1でなければならぬ、と信じこみ、他人にもそれを要求したがる生物である。

しかし、人生、ことに紳士対淑女の対面交通においてこの直球一本ヤリの処世法ではうまくゆくはずがない。いくら剛速球型のピッチャーでも、直球ばかりでは、目のいいバッターにはボカスカ打たれてしまう。やはりそこに、カーブ、シュート、ナックル、シンカー、フォークといった変化球の数々を混えてこそ、直球がいきでくるのである。球(言葉)のひねり方、握り方、はなし方のバラエティーによって、いろんな変化球は投げられるはずである。

これはピッチングに限ったことではない。キャッチングにおいても同様だ。他人の変化球(お世辞)をマにうけて「私はモテモテ淑女よ」などとウソボれるのも拙い話だが、ピンボール(男性性の毒舌)なども、さりげなく頭をそらしてやりすごす度量がほしいものである。悪口や毒舌のたぐいはクセ球であるが、キャッチャーミ

ットに軽く納め、球を握り直して一塁へ放るなり、ピッチャーに返すなりする大らかな捕球態度が望ましい。

では、変化球を投げ、かつ捕えて、自ら怪我をしないコツとは何であるか、それは心の余裕であり、ユーモアの精神である、といいたい。こんな小咄がある。

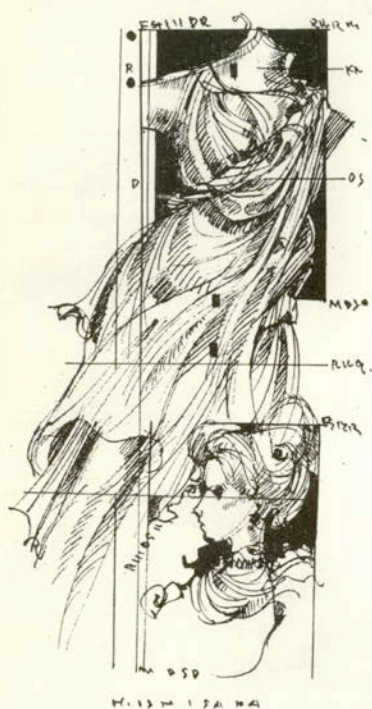
夫がカンカンになって「おい、まだ飯の仕度ができないのか。もう、これ以上辛棒できん！ オレは料理店へ行って食ってくる」

妻「すみません。あと、五分だけ待っていただけませんか？」

夫「あと五分で食事の用意ができるのか」
妻「いいえ。——でも、お伴させて頂きたいと思って」

ちょっとしたしやれっけである。こう答えられては、亭主たるもの、レストランへ同伴せざるを得なくなるはずだ。

夫婦げんかのあけく「お前は離縁だ。出てゆけ！」と宣言された妻。「絶対反対」といいたいところをグツとこらえて「それは少し迷惑ですけど」と一種とぼけた口調で答えたら、結末はどうなるだろうか。ユーモアと余裕こそ、人間関係の潤滑油である。



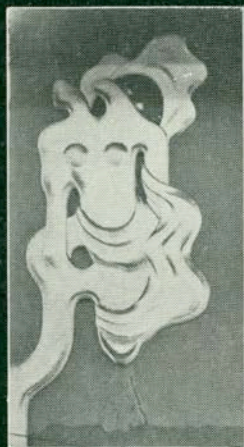
とかく近ごろは、スゴい、素敵、感激、絶対、スーパ、超デラックスなどというアクのつよいテンション（緊張）語がやたら安っぽく使われすぎているが、淑女はこうした緊張語の大売り出しをさせて頂きたい。

お互いに、ムキにならない、ならせないことが、淑女に望まれる心の姿勢であらう。

悲しみや怒り、喜びに対しても、すぐストレートに反応して、涙の池をつくったり、怒りの地獄に堕ちたり、有頂天のバカ笑いをしないで、ひよいと一拍マをとってそれを客観視してみようではないか。とかく女は——とか、どうせ女子供は——といったブベツ的な言辞に対しても、自尊心を傷つけられたようにムキになって憤慨せず「くだらんことをおっしゃってるワ」と軽くいなし、あっさり黙殺したがよい。

どうせ悪口も毒舌も、いわば言葉の遊びであり、人生をより楽しくする香辛料だと思えば、ピンポンカテニス（テニス）の球のように、ワンバウンドさせてから軽く打ち返せばよい。

△次号は鴨居羊子さんです▽



Lady's Shop

La Mode

MOTOMACHI KOBE TEL ③5689



Akira Beauty Shop



美容室

あきら

西野 明

電話予約制

三宮本通り TEL ③4461・6458

DRINKING



クラブ

ヤングベル

生田区中山手2丁目89 TEL・33-3052

生田神社の西側、桃山の北側を入ると左手にある。低い階段をのぼると落ち着いて飲める神戸らしいクラブ「ヤングベル」がある。

ゆったりとしたソファとカウンターはほのぼのとした心あつたまるサービスで6人の美人がお相手してくれる。

壁には小磯良平画伯の絵が静かにかかって、みる目にすがすがしい感じである。ママは花くまにいた松田真理子さん。すらりと着物姿が美しい。ちよっと甘さとおきやんさをミックスしたうざね顔の美人。ゴージャスな室内装飾はママのデザイン。小磯先生の絵は昨年開店のときプレゼントされたそうである。

「サービスをモットーに」するこの店は取引先の接待に利用されることが多く、青年会議所のメンバーのほか経済人がよくあつまる。楽しく、いづれもなごやかな雰囲気は心よい。

営業時間は午後六時から深夜十二時まで。

SHOPPING



若人の服飾

M A C

三宮センター街1丁目32 TEL・39-0895(代)

軽快なセーター姿で、あるいはジャンパー姿でさつそうと街中を通りすぎる若者たち——さわやかな初夏の神戸を色彩するに、ふさわしいスタイルだ。三宮センター街一丁目に、若人の服飾の店「マック」がある。その名前からうける印象の通り、明かるく、若さにあふれた、それでいてどことなく、落ち着いた親しみやすい雰囲気のお店である。一、二階の店内には、セーター、コットンパンツ、スニカー、ジャンパー、ブレザー、スポーツシャツ、ネクタイ、肌着、運動靴、etcと小物、アクセサリーにいたるまで、紳士洋品一切が豊富に取り揃っている。色もベージュ、赤、ブルー、オリーブとカラフルで、十代から二十五才までの若い層に圧倒的に受けている。宝塚の女優さんをはじめとして、男物愛用の女性客も意外に多いとか。恋人へのプレゼントにも最適。「若い人」とともに「というのがモットーで、おしやれに定評のある神戸っ子にはびつたりのお店。

ポケットジャーナル



★市民の祭りとりもどそう！神戸カーニバル実行委員会会長に鳥越静助氏

市民のまつりをと、きたる五月十四日、開港百年記念で神戸カーニバルが、このかわるが、その実行委員会の会長に鳥越静助氏（神戸市商店街連合会々長・神戸眼鏡院社長）がきまり、本格的な準備にとりかかった。市民不在のまつりといわれるみなとのまつりを市民がこそって参加できるお



鳥越 静助氏

まつりにと市民の気持ちも盛りあがってきている。神戸在住の外国人もそれ民族衣裳をつけて参加するパレードや音楽コーナー、画家連による街頭美術展など多彩な催しが予定されている。市民の一人一人が郷土の文化をたかめるために、また市民の神戸をとりもどすために、ムードを

もりあげよう。

なお副会長に土井芳子氏（神戸市婦人会々長）と田中健一郎氏も決った。

★六甲有料道路・六甲山トンネル開通

待望の六甲有料道路がこのほど完成し、三月二十五日に開通式、続く四月一日から有料道路として登場した。

この有料道路は、灘区高羽、六甲ケール土橋駅前を高架橋でスタートし、表六甲ドライブウェイの東側上部をしばらく並行。やがて谷に両足をかけたようなあざやかなアーチと、赤青白の三色にいろどられたパイプアーチ、新六甲大橋の下をくぐってぐるっとまわるともう橋の上。そしてもう少しのぼると料金徴収所のゲートに出る。ここが六甲トンネルの表側入口。表六甲ドライブウェイの篠原トンネルのすぐ横側にあたる。

工費二十億円、九二年間の突貫工事で完成したこの道路には、自動車専用では

日本第三位の六甲山トンネルがあるが、これも走ってしまったら五十六分。あつというまに裏六甲ドライブウェイにつながって、兵庫区の唐櫃（からと）に出てしまう。そしてここから有馬へはもうわずか数分。この六甲有料道路は、単なる観光道路ではなく、六甲の裏側を表側の市街地に直結する大産業ルート。冬で



3月25日の開通式

も凍結の心配がなく、霧で徐行ということもないのが自慢。建設費を通行料金で償還し終わると、無料になる。なお料金は普通乗用車百五十円、トラック二百円、小型車百円、バス四百円。

★神戸開港百年祭に協賛して第9回日展「こうべ展」

神戸開港百年にあたる今年には各地で盛大に協賛行事が数多く予定されている。日本画、洋画、彫塑、工芸美術、書の五部門から構成されているわが国美術界の作品発表の機関である「日展」の「こうべ展」がきたる五月十四日から六月四日

神戸開港百年記念国際シンポジウム開催

神戸開港百年を迎える神戸市では、朝日新聞社と共催で、五月十六日から二日間、国際シンポジウムを開催する。「港湾と地域開発」と題するもので、従来わが国での地域問題にあっては、港湾問題と地域開発が別個に取扱われる傾向にあった。そのことを反省すると同時に、神戸開港百年を記念して、港湾と都市発展、地域開発について討論し位置づけようとするもの。参加者は、関係官公庁、貿易海運関係団体、地域問題関係学会、阪神諸領事館、在京阪神外国人留学生、その他約二百名を予定している。

討論する議題は「産業と港湾」、「港湾と地域開発」、「ロケットダム港とライン川のバジ輸送」、「陸海空の運輸体系」、港湾とコンテナリゼーション、「ニューヨーク、ポートオーソリティーについて」、「港の文化史的意義について」で、いずれも国際港神戸の将来に大きな意味をもつ問題ばかり。神戸市長から発表される「神戸港宣言」は、二日間の国際シンポジウムの成果を物語るものとなるだろう。（於オリエンタル・ホテル）

まで、神戸市立王子体育館
(市電王子動物園前・市バス青谷)で、開かれる。知名作家の秀作三百六十点と地元作家の作品をあわせて四百七十九点が出品される。

出品者のなかには、日本画部門で、十九才の最年少で参加する鈴木順子さん(甲子園在住)もふくまれており、地元の人たちでは川端謹次さん(須磨)畑スマ子さん(生田)久本弘一さん(葺合)矢野馨さん(灘)中岡恒雄さん(兵庫)などが出品することになっている。

主催は神戸市と神戸新聞



橋本明治作「観」

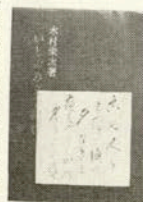
社、後援は文部省、兵庫県教育委員会で開催されるこの展覧会は郷土美術の振興と若い世代の情操教育のためにと団体受付けをしており百年祭協賛にふさわしい意義ある文化催しである。入場料は当日券一般二〇〇円高・大生一五〇円、小・中生八〇円、前売券も三月十五日から五月十三日まで区役所、プレイガイド、神戸新聞販売店などで取り扱っている。

展覧会についての問い合わせは神戸市教育委員会社会教育課(市分庁舎五階)TEL 〇八二一(二七八

三・二七八二)に聞けばわかる。

★「のじぎく文庫」「いしづみ文学紀行」発刊

書道家の間では拓本に興味をそえられる文学碑が、兵庫県下にも数多くある。そうした文学碑を訪れ、その背景にある社会とか、歴史にまで思いをめぐらし、一冊の本にまとめたものがこのほどののじぎく文庫から木村栄次著で発行された。



今までに出版されたこの種の本に、新しい文学碑も加えて、万葉集の歌から近代文学の碑まで、遠い祖先からの人間の心のいとなみの跡を追求していくには格好の本。うらかな日さしのもと、この本を手に県下の文学散歩にでも出掛けてはいかが?(お申し込みは神戸新聞会館内ののじぎく文庫へ)

★「神戸の史跡」発刊される

神戸をこれから知りたいと思っておられる方はもちろん。神戸をよく知っている方にとっても、更に詳しくという意味で、格好のハンド・ブックが、神戸市教育委員会編で発行された。

「神戸の史跡」と題するこの本は、神戸の観光案内として、また何気なく見す



神戸の史跡

ごしてしまいうような史跡を数多く取上げて、六つの区に分けて解説されている。説明はかなり詳しく、広範囲にわたっており、郷土史家の研究資料としても最適である。神戸を愛する者には必読の書であろう。

神戸市社会教育課発行二二三頁、非売品。

★消防艇「くすのき」登場

神戸市消防局がタンカー火災にそなえて新造した化学消防艇「くすのき」(三六ト)の入魂式と披露が四月七日、神戸港メリケン波止場で行なわれた。「くすのき」は長さ一七・四ト、幅四・三ト、十五人乗り。高さ一〇トまで伸びる放水塔をはじめ、放水砲二本、左右両舷に十二の放水口を備えている。有効消火面積は一〇万平方ト、これほどの性能をもつ消防艇は日本では二隻目。さっそく水上消防署に配属され、「くすのき」(二〇ト)とともにミナト神戸の防火にあたっている。

★両陛下下神戸へ

天皇、皇后両陛下は、岡山県郊外で行なわれた植樹祭にご臨席になったあと、

誕生日
ありがとう



運動

「二周年記念行事」
精神薄弱児(者)は百名中三・四名は必ず出現しています。そうした重荷を背負って苦しんでおられる方々に、わたしたち健康な者が、お誕生日のお祝いの中から、意識的に一〇〇円を節約し、献金する。そうしたところが精神薄弱児(者)を正しく理解し、それと同時に誕生日を有意義なものにするそれが「誕生日ありがとう運動」です。

この運動も来る五月八日で二周年を迎えることとなりました。その間には、すでに六グループが発足し、献金も一万件をはるかに突破しています。運動本部は、こうしたあたなにお心感謝する。という意味で、二周年記念行事を予定しています。行事日程と内容は次のとおりです。

場所 三宮センター街、星電社ホール(五階)
日時 五月七日(日) 十二時半
五月八日(月) 十五時半

内容 六・二周年感謝のビデオ配り
花のプリンセス特別参加
ボランティア(神戸・セ
ンター街)
☆誕生日ありがとう運動の集い

献金使途発表
二周年記念選作文発表
と表彰。映画「七五〇〇
年のしあわせ」上映
☆二周年記念の風船あげ
(神戸市役所花時計前)

わたしたち一人でも多く精神薄弱児(者)を正しく理解するために、この記念行事に参加したいのです。こうした運動に理解と協力をいただける方は、左記へご連絡下さい。資料をお送りいたします。

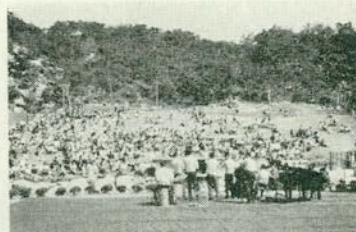
☆本部、神戸市長田区前原町
市立長田小学校内
TEL 〇八二一(九六) 〇八二一・〇九一八

神戸に行幸啓された。

四月十一日午後四時神戸駅にお着きになり、宿舎の「オリエンタルホテル」で「一泊。翌十二日午前九時三十七分ホテルを出発された両陛下は、小雨のけづるなかを、神戸港を一望のもとに見渡せる摩耶大橋を通り、摩耶ふ頭に向われた。摩耶ふ頭では、原口市長の説明に大きく何度もうなすかれ、あいにくの視界の悪さにもかかわらず、年々発展していく神戸港のたくましさに、満足げなご様子だった。続いて神戸製鋼所神戸工場をご訪問になり、綿材のつくり方をご見学ののち昼前兵庫県庁へ。工芸品陶磁器など県特産品を金井知事の説明にご覧になり、最後に市立中央体育館でバ

レー・ボールをご見学。午後一時十分京都に向われた。

★テキシシーランド・ジャスフェスティバル



昨年の楽しかったフェスティバル風景

初夏の太陽のもとで、思存分ジャズを楽しむもう、こんな夢が実現して第一回の全日本テキシシーランド

・ジャズ・フェスティバルを開いてからはや一年。今年もまた、第二回目のフェスティバルが開催されます。

五月晴れの下で、ひねもす腕に自慢のジャズ・マニヤがテキシシーランド・ジャズの腕を競いあつて楽しもうというもので、出演者は学生、社会人による「アマチュア・グループ」が中心。それに、今年は新たに広く一般よりの個人参加（ピアノ持参のこと）を呼びかけている。五月七日AM11~PM4時まで。芦屋奥池遊園地野外ステージ。一般の入場料は三百円（遊園地入園料も含む）なお、雨天の場合は5月14日に順延。

花時計



拝啓、新議員さま
激戦の選挙が終わって
新しい議員が市つた。
兵庫県・神戸市の歩み
に県民・市民の声を反映
させてもらえることにな

る。
佐藤首相は「風格ある
社会」にしたいという旗
を掲げている。

新選良にお願いしたい
ことは、この言葉につな
がっている、風格のある
社会づくりをぜひ実現さ
せてほしいと思う。
とくに神戸は、日本を
代表する世界的な港都で
あることを十分認識して
もらいたい。近視眼的な
施策だけではとても「風
格ある社会」は望めない
堂々たる県政、市政であ
るように願わずにはおれ
ない。
県市に通じていえるこ
とは、文化行政の弱さが
他府県に比較して目立つ
ことだ、こんなことで

とても「風格ある社会」
はつくれそうにもない。
開港百年を迎えて新しく
百年の計を樹てなければ
ならない、港・街づくり
のビジョンとともに文化
面でもビジョンを考えて
もらいたいということだ
ある。

文化面での行政が遅れ
ているという現実な為政
者もわかつていることで
ある、そんなに難題があ
るとも思えない、こんな
ことは、県・市民のため
に厳しい態度で追求して
ほしいものだ。

(Y)

■百貨会だより■

★舶来物でおなじみの店カセットでは、四月一日〜五日の五日間、春の舶来生地雑貨展示会を開催しました。今回の展示会には、春夏の新作舶来服地をはじめ、ブレタポルテ、ニットスワッシュ、ハンドバッグ、小物など、舶来雑貨が多数取揃えられ、おしやれなムードが店いっぱいにあふれ、春を彩っていました。

★田崎真珠では、四月二十二〜二十四日、大阪・イザルホテルのダイヤモンドルームで、新作展示と即売会を開催しました。これは、三月十八日〜二十日まで、神戸・ニューポートホテルの六甲の間で展示と即売会を開催したのに続くもので春にふさわしい会でした。

★三月十日東京・白木屋に東京店をオープンした元町バザール（元町一）と神戸シャツ（大丸前）では、二月十三、十四日に開催した展示披露会に続き、四月十七日〜二十日を催しました。内容は前回と同じく、神戸センスのすばらしい商品ばかり。会場には関東のおとくいはじめ、政財界など知名人数がみえ、盛大におこなわれました。★諸国民芸の姉妹店の姉妹店、神戸名物館の姿では、このほど元町通から大丸前、日東館裏に移転開店。四月十二日よりオープンしました。今までは夜だけでしたが、大丸前に移ってからは昼から開店し、昼食の用意もしております。（定食など）元町通の時と同様よろしく。

★呉服の店ちんがら屋では、四月二十五日〜二十九日の五日間、西店二階サロンド「ひえ着物・うすもの会」を開催した。店内いっぱいには展示された着物に、訪れた人たちは目を見張つていました。★みよしや（大丸前）では、五月十日、十一日の二日間、三宮ビル十階ホールで、夏にさきがけて「おひえ・夏帯の会」を開催します。一足先にホールの中は初夏の香りに包まれるでしょう。

抽象画のある

料亭

赤坂

豊魚季を迎え瀬戸の鯛は今が日本一!!

鯛づくし料理を……三〇人、五〇人、八〇人、大歓迎

▲赤坂名物……神戸肉を焼いて

野菜をたっぷり

食事付一、三〇〇円

舌つづみが絶え
ません!!

	青い	楽	みど
限り	畳の	しむ	りの
ます。	上に	頃は	風を



お泊りも出来ます
岩風呂、
美観、
閑静、

神戸中山手四

TEL ②② 7836・7846

鮎	味	り	蜂
の	が	ん	蜜
又	い	ご	と
平	っ	酢	
	ぱ	の	
	い		

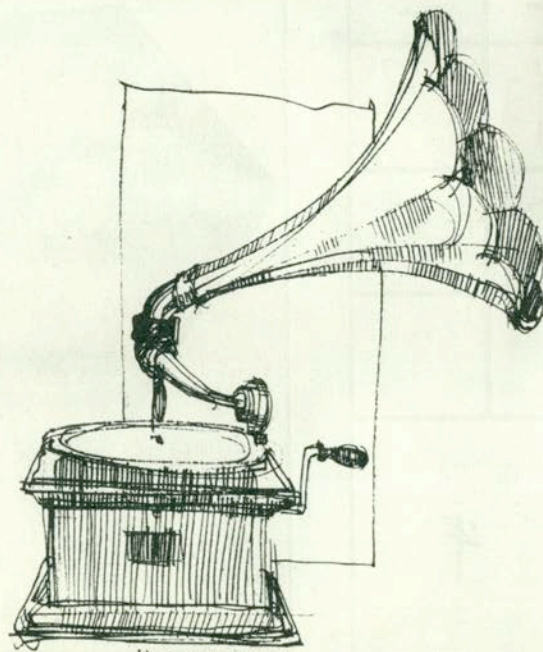
神戸三宮生田ノ社ノ西

鮎の又平

電話・三の宮 ③③ 0935

耽溺の詩人 モラエス

小山牧子 え・石阪春生



★あらずし

神戶駐在ポルトガル総領事ウエンセスラオ・デ・ソーザ・モラエスは、祖国の軍艦が神戸港に寄港したのを機に、全乗組員を招き、賑やかな宴席をもった。その時、モラエスの胸をよぎるのは、かつての観艦式での苦い思い出であつた。神戶沖合、今や堂々と白波をきつて進む日本艦、外国軍艦……。しかし、その中に海軍国ポルトガルの軍艦の姿はなかった。やがて、美し長い間憧れてきた日本艦、その神戶の片隅で日本人よりも日本人の左遷命令を機会に、日本への移住を決意した。その愛妾ヨネを得た。体が弱く病床にふせりの別離から愛し合うこととも、モラエスにとつては楽しいことだつた。マリシア、アルシ、亜珍、三人の女との別離から愛し合うことがどれ程むなしいことか知っていたが、そのモラエスの不信感も、熱い悦楽のほむらの中で完全にとけていくのであつた。

(4)
ゆたかに繁った金色の胸毛に顔をうずめながら、ヨネは思った。

——この胸に顔をうずめることが、しあわせと思うようになったのはいつごろからのことであつたか——と。

ヨネは、はじめてモラエスの座敷に呼ばれていった頃のことを思い出した。

当時ヨネは、心のありつたけを捧げつくした恋人に死にわかれ、荒んだ心で毎日を暮らしていた。

「あんまりのぼせたらあかんし……」

女将や朋輩の忠告も耳に入らず、ヨネは大学生である恋人との無理なおうせを願ひ、そのための借金がかなりかさんでいた。

だから、ちょっとした風邪がもとでその恋人が死んだ時、心のより所を失つた上に借金を背負ひこみ、おまけに宿病である心臓病が次第に悪化の徴候をみせはじめたヨネはあせつた。荒んだ心でなんとかまとまつた金がかほしいと思つてた。そんな時、モラエスが松島新地に現われたのである。

外人客は初めてのヨネであつたが、モラエスがポルトガル船の偉い人であると聞いて、彼の座敷をつとめることを希望した。

「あんた。ええんかいな……？」

その時だけは、強欲で人情のかけらもない女将でさえも、驚いてヨネにただしたものであつた。

普通、外人客専門の芸妓は下等なものとされ、ほこりを持った芸妓から見さげられていたし、一度でも外人客を相手にした芸妓は格落ちし、上客がつかなくなるこゝとならうであつた。

「ええんじょ！ポルトガルだろうが、メリケンだろうがオロシアだろうが……まさか取つて喰うとはいわんじょ……」

ヨネは、うつろな表情でいつてのけ、乾いた自嘲の笑顔をたてたのだつたが……。

はじめての夜は、モラエスはいやにもじもじとして、ヨネにふれようとしなかつた。長い間、船に乗っていた

にしては、ずいぶん純情な異人さんだと思ひながら、ヨネはただ金が欲しい一念だけで、自分の方からからだをぶつけるようにしていった。

しかし、モラエスの胸に顔をうずめた時、ヨネはこの大きな男の体臭が思つていたほどいやなものではないことを感じた。世界の海を渡つてこの日本の岸辺に宿つた異国人のゆたかな胸毛の奥に、ヨネはかすかな顔麿のおいを嗅ぎ、そしてヨネは、モラエスがなぜかしあわせの薄い男ではないかと思つたのだつた。

「わたしと同じみたいじゃ」

ヨネはつぶやき、それ以後モラエスの座敷をあまり苦痛とは思わずに勤めた。なにしろ毎晩よんでくれるし、その上モラエスは、金ばなれのよい男だつた。

しかし、モラエスが何度目かに来日し、ヨネの前に現われ、落籍して一緒に暮したいといひだした時、彼女はまったく仰天してしまつた。

洋妾（らしやめん）。そのうすぎたない言葉が、ヨネの顔とからだを恥かしさで小さきみにふるわせた。

ヨネは、洋妾という言葉の意味を知つてゐる。洋妾——羅紗綿娘。昔から異人の男が遠くに旅をする時、一匹の綿羊を連れて出掛けた習慣から生れた言葉で、男は、寒い夜には綿羊を毛布がわりに抱いてねむり、情欲を感じた時もその綿羊を役立てる。そして、その綿羊と同じ役目を果たすために異人と同棲する日本娘を輕蔑して羅紗綿（らしやめん）——洋妾と呼ぶ。

「そんなもんになれんじょ」

ヨネは、モラエスの申出を拒んだ。しかし、彼はあきらめようとしなかつた。

副領事館に仕事を見つけ、神戸に住みつた彼は、夕暮れになるのを待ちかねて、とぶように松島新地にやってくる。

「オヨネちゃん。ナゼワタンキライ？」

片言の日本語を少しおぼえたモラエスは、悲しげな顔でヨネにせまつた。

うつむいたままのヨネは、言葉もなくただ首を左右に振るだけであつた。日本の言葉がわからないモラエスに

ヨネの気持をどう説明すればよいのか。モラエスさんがきらいなのではない。羅紗綿娘という言葉が悲しい。田舎の父さん母さんが、羅紗綿娘になった私を見たら、どんなに悲しがるだろう。

モラエスは、ヨネを前において世にも淋し気な顔でどんだん日本の酒を飲んだ。海軍中佐時代からたくわえていた立派な栗色のヒゲが、モラエスのしおれた様子にそぐわず、ヨネにあわれの感情をおこさせる。聞いてみると、本国でも南支那のマカオにいる時も女運の悪かった異人さんらしい――。

同情の思いにとらえられる夜、ヨネは思わず襟元をきつくかきあわせた。心の乱れをモラエスに見せてはいけない。ヨネは女の弱さについて知り過ぎるほど知っている。死にわかれた大学生を愛するようになったのも、苦学している彼への同情からであった。そしていま、ふたたびこの牛のような目をした異人の淋しさに身のほども

なく心を動かされている。

「ほだされたらあかん。あかんのよウ――」

ヨネは、何度も自分にいいきかせた。しかし、ヨネには、すでにモラエスを拒みきれぬ自信がなくなっている。心もとない日が続いた。

かさね合わされているモラエスのからだから、ゆつくと本当にゆつくりと高まりが引いてゆくのをヨネは感じた。

過ぎた日々を思い返すと、いまこのようにモラエスと二人、一つ家にむつまじく暮らしているのが嘘のような気がする。

開け放った縁先から見える庭は、樹木も石灯籠も、とつぷりと闇の中に沈み込み、空には無数の宝石をちりばめた天蓋をかぶせたように星空がきらめいていた。

「モラエスさん。ほら見て、お星さんきれいでしょ」



満ちたり飽和した男の手は、ヨネのゆたかに束ねられた髪の毛に軽くふれていて。

「オホサン……」

夢を見ているように、うっとりとしてモラエスはつぶやいた。

天の川の星雲が白い光を放ち、渦まきながら海の方へ流れている。ヨネは、星々の渦からできた白い河の果てにある土地を思った。郷里の徳島である。病気がちのヨネにとって徳島はすでに地の果てほどの遠さに思える。

「モラエスさん。徳島のこと覚えてる？」

ヨネは、深い吐息と共にいった。

モラエスにとっても、徳島は忘れられない土地にちがいないと、ヨネは思う。

モラエスの執着に息くらなくなったヨネは、折から芸妓廃止運動が日本国中にひろがり、その影響でヨネが籍をおく松島新地へのなじみ客の足が遠のき、くるわがさびれてしまったのを機会にひまを取り、徳島へ帰っていたことがあった。

しかし、モラエスはそれだけでヨネへの執着を断切ることができなかった。実家に身を寄せているヨネを訪ねて、モラエスは二度徳島へゆき、ヨネと彼女の両親の説得につとめた。

「なんぼ貧乏しても、娘を洋妾になんぞできんじヨ！」

邪けんにいいはなつ父親の前に、大きなからだを無理やりたたみ込んだといった様子で膝を折って坐っているモラエスは、気の毒というよりは、滑稽味があつてヨネにはおかしかった。

しかし、貧しさのゆえに娘を花柳界に売った働きの悪い大工である父親には、それほど強い態度を持続することができなかった。一度は居丈高に追い返したモラエスであったが、二度三度、一家の貧し気な暮らしぶりを見て、かなりの金を置いてゆくモラエスを、いつか父親は愛想笑いで迎えるようになっていた。

そして、病気がちのヨネにとっても、その日ぐらしの一家に徒食することは、つらいことであつた。

二度目にモラエスが徳島を訪れた時、ヨネはついにモ

ラエスに屈した。貧しさのゆえに、ヨネは死んだつもりでモラエスと同棲することを承知したのである。時にモラエス四十六才、ヨネは二十五才であつた。

切切った断崖から飛びおりるという形容が、この時のヨネの決意にぴったりとあてはまる言葉であつた。

ほとんど死んだつもりで飛び込んだモラエスとの生活であつたが、そこには拾いものの静かなしあわせがあつた。モラエスは申分なくやさしく、妾という身分のヨネを尊敬さえしてくれる。

そしてヨネはいま、時に幼女に返つたようにモラエスに甘える。ちょっとした駄々をこねて、モラエスに悲しい顔をさせるのも、病床に伏しがちのヨネの気ばらしなのである。

「ねえモラエスさん。わたし一つべん徳島へ去にたいわー」

すると、モラエスは心配気に答える。

「オヨネちゃん、ビョーキワルイ。モウシユグスズシクナル。ソシタラトクシマヨロシイデシユ。ワタシモイッショイキマシユ」

「涼しいなくても病氣ようならんかったら、どうするんよウ？」

「キツトヨクナリマシユ。キツトデシユ。ホラ、オホサンガオヨネちゃんマモツテマシユ」

月がなく、星々だけがさざめく美しい夜が、よりそう二人の外に果てしなく広がっている。

「きつと……」

ヨネはそつとつぶやいてみる。秋までには、きつと元氣になろう。そして、このやさしく孤独な異国の人、モラエスと共にこの街の片すみで、いつまでも生きていたい。

ヨネは、空にきらめく星々を祈りに似た気持をこめて見上げるのだった。

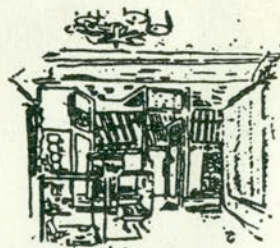
／＼



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

三恵洋服店

元町4丁目 TEL ㉔ 7290



世界の品々は
サノへでお選
びください。



元町2丁目

㉔4707~8



Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

オシャレ洋品の店

フナキヤ

元町3 TEL<33>8617



あらゆる体型にフィットする
スポーティなタッチ
さあ! オーダーシャツで
いこう!



紳士洋品の店

千 秘 蔵

元町4 TEL ㉔6959



高級紳士服専門店

神戸テーラー

さんちかメンズタウン TEL 33-0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL 33-2817・3173

KOBE SHIRT

よろず街 衣縫上處

神戸シャツ

大丸前 TEL 33・2168

The
Cosmopolitan
Valentine F. Morozoff

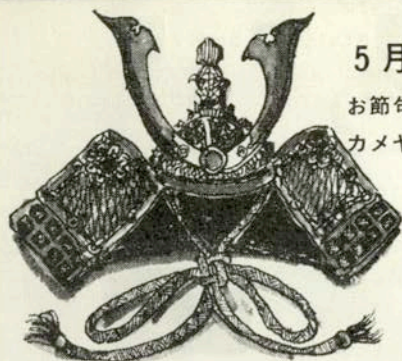
コスモポリタン チョコレート・キャンデー

神戸本社 神戸市生田区三宮町1丁目170 電話 33-5304
神戸直売店 神戸市生田区三宮町1丁目 電話 33-1217
大阪堺筋店 大阪市東区淡路町2丁目 電話231-6979
大阪心斎橋店 大阪市南区安堂寺橋通4丁目 電話251-4182
東京銀座店 東京都中央区銀座8丁目 電話571-2303
東京新宿店 東京都新宿区角筈1丁目 電話352-2436
新宿ステーションビル地下2階
東京有楽ビル店 東京都千代田区有楽町 有楽ビル 電話213-2821



ご贈答に風味豊かなカステラ 長崎堂本店

本店=大橋町5大五ビル (61) 0553-4
新開地店=松竹座前 (56) 2423
元町店=元町 6 (34) 4130
さんちかスイーツタウン (36) 3625



5月の節句

お節句の御用意は
カメヤへどうぞ



おもちゃの
カメヤ

元町3丁目 ☎ 0090
元町1丁目 ☎ 0768
三宮センター街 ☎ 4969
さんちかタウン ☎ 4045

高級きものとおび
しみぬき・活洗専門店



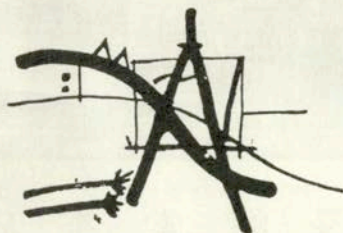
平野

つるや本店

兵庫区神田町125
(家庭裁判所前東1丁)
TEL ☎ 6932

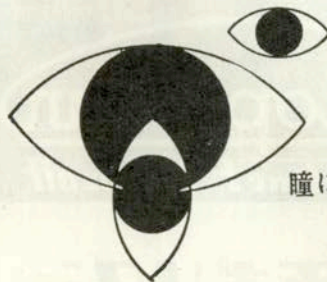


額縁絵画・洋画材料 室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
☎ 1309・6234



瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一 (三宮駅前)
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・8361



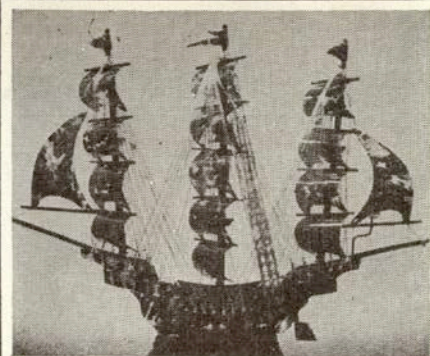
創作ハンドバッグ
工芸品 ORIGINAL

神戸 ■ 元町

ACCESSORIES

イクシマヤ

TEL. (33) 2415・2416



センスあふれる

べっ甲専門店

太田 鼈甲店

元町1丁目 TEL ㊟ 6195



大 上 靴 店 ・ い な み

元町通1丁目 TEL 33・3962
さんちかメンズタウン TEL 39・4627

創業明治二十八年

履物の山下

古い老舗に新しいセンス

神戸 三宮センター街

TEL ㊟ 0256

確実正札 完全冷暖房

静かに品選びの出来る店



おすし
てんぷら

栄
彌

営業時間

A. M. 11.30~P. M. 9

本店 三宮町二・朝日会館前
TEL (39) 5772
支店 さんちか味のれん街
TEL (39) 5233
(毎週月曜日休み)

神女名物

瓦せんべい

欧風煎餅

クリームハッピー

クリームパピロン

創業明治6年

龜井堂總本店

本店 神戸元町通6丁目浜側 (35) 0001~0005

売店 神戸/三越、そごう百貨店 大阪/阪神甘

辛のれん街、近鉄百貨店、松坂屋百貨店 東京/

小田急百貨店、小田急のれん街、新宿ステーションビル有名物産内 九州/小倉東映、博多民衆駅



洋酒の店

OK

小川 深雪
阪急西口下京町筋
TEL <39> 1413

やっぱりうまい
むさしのとんかつ

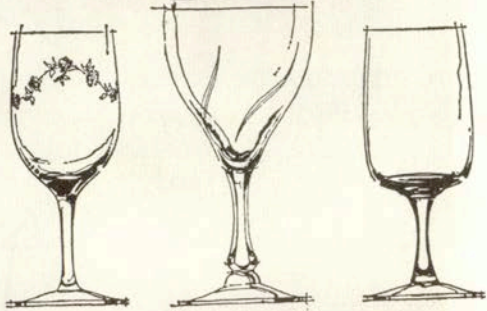
三宮
ムサシ
でんわ (39) 三七七一
三一〇八

SNACK BAR
マゼラン



生田区加納町4丁目 TEL 39-2366

CLUB
落



清水よし子

生田区下山手通2丁目TEL(39)1515



洋酒の店キャンテイ

Chianti*

榊 晴夫 TEL(39)3060

213KITANAGASA-DORI IKUTA-KU KOBE



松田 真理子

生田・中山手2丁目89・TEL 33-3052